

お母さんのひろば

市P連母親委員会は市内27小中学校PTAの女性代表で構成されており、母親委員会で興味のあるテーマを協議して、毎年の事業を実施しています。今年度の活動をお知らせいたします。

平成24年度の活動

【研修会】平成24年12月14日(木)

施設見学 「日本原子力機構高崎量子応用研究所」(高崎市綿貫町)
「ガトーフェスタハラダ」(高崎市新町)

【講習会】平成25年1月21日(月)

演題 「コーディネーショントレーニングを学ぶ」

講師 NPO法人コーディネーショントレーニング協会公認講師

【母親委員会広報紙】 「お母さんのひろば」編集・発行



研修会報告



《放射線についての講義》



《研究開発の成果について》

市P連母親委員(各単P女性代表)が参加し、高崎市にある2カ所の施設を見学しました。

高崎量子応用研究所では、放射線の概要や研究開発例の解説を受けた後、照射施設内を見学しました。放射線によって強化、改良されたものが日々の生活で役立っていて、放射線の技術は身近であることが分かりました。また照射施設は厳重な安全対策を徹底していて、安全への配慮が見られました。

ハラダでは、清潔感のある製造工場で機械化された製造過程をみることができました。製造工場はここ1カ所のため、24時間稼働しているとのことでした。

1日がかりの研修でしたが、母親委員同士の親睦も深めることもできました。

講習会報告

今年度は「コーディネーショントレーニングを学ぶ」と題して、NPO法人日本コーディネーショントレーニング協会から佐藤一先生をお招きしました。子どもの体力や運動能力の低下が問題になるなか、子どもの身体能力の可能性について考え、また母親委員自身の運動能力と体力の向上を図るきっかけの場を提供したいと開催しました。講義で運動能力は複雑に関係し合って発揮されることを学んだ後、実技を行いました。基本動作から手足の順序が入り替わるなど複雑な動きに変わると、リズムを崩した参加者からは笑いが起こりました。その後も組になって2人同時にボールをパスする練習など、頭を使いながら真剣に体を動かしていました。参加者は終始笑顔で、とても楽しくコーディネーショントレーニングを学ぶことができた大変好評でした。

【参加者アンケートから】

〇腰と膝を悪くしてから運動する機会がなかったのですが、今日は無理なく楽しく汗をかくことができました。

◇学校のPTA学年行事などで企画しても喜ばれる内容だったと思います。

☆子どもがスポーツをしています。体幹トレーニングをはじめ運動結合トレーニング等を家庭で楽しく行い、さらに上達できるかもしれないという期待が持てました。



《筋力に頼らず立ち上がります》

【参加者アンケートから】

●放射線でジャガイモやタマネギの芽を抑えたり、花の品質改良を行うなど、身近なものに役立っていることを知りました。

◆原発事故後、注目されている放射能のことも興味がありました。もっとやわらかく説明して欲しかったです。原子力は必要だと感じました。

■工場見学では、大勢の人が携わって良い品物ができるのだと思いました。

★日にラスク100万個の生産量に驚きました。すべてが機械化されていて、楽しく見学させていただきました。

県P家庭教育集会

11月8日に県青少年会館で開催された研究集会に浜川市から13名が参加しました。この研究集会は、子どもに関する問題について、保護者と教師が情報交換や研究協議を行い共通理解を図るために県P連が主催しているもので、県内から約250名が集まりました。

全体会の後、分散会で設定されたテーマをもとに参加者が討議を行い、県教育委員会社会教育主事が指導助言者として参加しました。

テーマの1つ【子どもとメディア】では、危険な面も持つが非常に役立つ道具でもあるメディアと子どもとの関わり方について、参加者から様々な意見が上げられました。悪影響を防ぐため、携帯電話やパソコンなどを大人が目配れる環境で利用させることが重要であると再認識しました。

